

今年度も最後の月となりました。今年度のまとめ、次年度に向けた計画・準備等でお忙しいことと思います。今回は、母子保健専門研修会Ⅲ、自殺予防月間、市町村からのお問い合わせ等についてです。



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

…… 母子保健専門研修会Ⅲを開催しました（2月5日） ……

講義1：気になる妊産婦とのコミュニケーションについて

南長野医療センター篠ノ井総合病院 MSW 塩原さとみ氏

（要旨）病院内での周産期医療チームの役割、地域との連携について

講義2：妊娠期から産後の関わりと支援について

清泉女学院大学 准教授 石川智恵氏

（要旨）ペアレンティングセミナーの実際とその意義、今後の課題

参加者数	63所属 177人
講義1の理解度	平均4.5点(5点満点)
講義2の理解度	平均4.6点(5点満点)

○アンケートに寄せられた質問に講師方々から回答をいただきました

回答者：南長野医療センター篠ノ井総合病院 MSW 塩原さとみ氏

Q1 ハイリスクスクリーニングシートを活用されているとのことですが、聞き取りをする上でどのような工夫をされていますか。

スクリーニングシートは、対応する助産師が聞き漏らすことがないように、チェックリストになっています。そのリストに沿って助産師が質問している形式にしています。

質問をしながらも「今日はあなたからいろいろと教えてくださいね」という姿勢で尋ね、答えにくそうだったり、まだ明確になっていないことがあれば、より対応しやすいスタッフに交代する、日を変えたり、狙いを定めた健診時期に改めて再度尋ねる等、計画的に確認するようにしています。

Q2 周産期医療ケアチームの公認心理士は周産期専属ですか。

周産期医療ケアチームには、女性の公認心理士がおります。周産期に関わることを中心にしていますが、小児科の知的・発達評価もしています。

回答者：清泉女学院大学 准教授 石川智恵氏

Q1 コペアレンティング教育を実際に行う場合には、特別な講習や資格は必要ですか。

特定の会（団体）等で公認されたプログラムを行う場合は、然るべき講習や資格が必要になると思いますが、ご自身で作成したプログラムを行う場合は、特別な講習や資格は必要ありません。

既存のプログラムを行う場合は、そのプログラムを作成した方にお問い合わせください。

Q2 夫婦間のコミュニケーションの大切さについて、伝える時期はいつ頃が良いですか。

私自身は、夫婦間のコミュニケーションは出産してからではなく、妊娠期から行えることが大切だと考えています。なぜならば、子どもとの生活が始まると、お互いの余裕がなくなり、特に母親の精神面の変化が著しいため、そこから夫婦でコミュニケーションをとろうとしても難しくなるのではないかと思うからです。

また、新生児訪問等、父親がその場にはいない時に母親だけに伝えてもあまり効果はないのではないかと思います。やはり妊娠期に夫婦が一緒に考える機会を作ることが必要だと思います。



……速報 令和5年人口動態総覧（件数）について……

令和6年2月27日厚生労働省から令和5年の人口動態統計速報が公表されました。

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/s2023/12.html>

		出生数	死亡数	死産数	婚姻件数	離婚件数
全国	R5速報値	↓ 758,631	↑ 1,590,503	↑ 16,153	↓ 489,281	↑ 187,798
	R4確定値	770,759	1,569,050	15,179	504,930	179,099
長野県	R5速報値	↓ 11,835	↑ 28,728	↓ 211	↓ 6,886	↑ 2,845
	R4確定値	12,143	28,503	224	7,288	2,559

あなたもゲートキーパーです

厚生労働省が発表した令和4年自殺者数確定値によると、全国・長野県ともに自殺者数は増加しています。背景には、コロナや物価高騰、相次いだ著名人の自殺報道など様々な要因が影響しているとされています。

母子保健という観点では、「産後うつ」は出産後3か月以内に発症することが多く、出産したおよそ10人に1人が症状を感じていると言われていますが、放っておくと自殺につながる恐れがあります。そのため、皆さんにもこうした方々を支える、「ゲートキーパー」(命の門番)になっていただきたいです。ゲートキーパーは、悩んでいる人やその人の変化に気づいて声をかけ、話を聴いて、必要に応じて専門家(医療・相談機関)への相談を促し、寄り添いながら見守る人のことです。

県ではゲートキーパー研修動画を作成し、YouTubeで一般公開しています。また、茨城県障害福祉課・筑波大学精神医学グループが作成した動画は、出産後の女性についての具体的事例となっています。ぜひご覧ください。



ゲートキーパー研修
基礎編(今年度、内容を更新)
<https://www.youtube.com/watch?v=Dy8AEqLnTfk>



ゲートキーパー研修
ステップアップ編
<https://www.youtube.com/watch?v=QdLNNMJWLCY>



茨城県障害福祉課・筑波大学精神医学グループ作成: 出産後の女性編
<https://www.youtube.com/watch?v=Cfci6XrWTzM>



市町村からのお問い合わせ

乳幼児に対する健康診査は、令和6年度から新しい「乳幼児健診情報システム」で実績を集計するとのことですが、新システムについて情報があれば教えてください。
また、来年度以降の問診項目は、「成育医療等基本方針」に基づくもののみ聞き取るということによいですか。

【回答】 当センターだよりNo. 9 (令和6年1月25日発行) において、令和6年度から問診項目が変更されることをお伝えしました。

その後、令和6年度から使われる「マクロシステム暫定版」について国から情報提供がありました。マクロシステム暫定版をご覧になりたい場合は、母子保健係(☎026-235-7141)までご連絡ください。

◆マクロシステム暫定版では、「健やか親子21」と「成育医療等基本方針」に基づく項目を併記しています。

成育医療基本方針に基づく項目	R6年度以降、国の調査項目(報告)はこの部分のみ
健やか親子21に基づく項目	市町村における情報の利活用の観点から集計できるようになっているので、市町村の状況によりご活用ください。 この項目を活用した場合、国への報告時に入力内容を削除する必要はありません。

【参考】健やか親子21乳幼児健診情報システム(現行版) <https://sukoyaka21.cfa.go.jp/useful-tools/infant-info/>

センターからのお知らせ

〇「令和4年度(2022年度)長野県の母子保健」の差し替えについて

令和5年12月に発行した「長野県の母子保健」ですが、掲載した資料に不備がありました。訂正資料を送付しますので差し替えをお願いします。お手数をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。



訂正箇所:《資料編》II 市町村実施事業

第3節「健やか親子21(第2次)」の指標に基づく乳幼児健康診査必須問診項目(令和3年度)の全国データ(69ページから88ページに掲載)

-----***-----**-----*-----**-----***-----

お読みいただいたご感想・ご意見をお寄せください。お待ちしております。

担当圏域	母子保健推進員	連絡先
佐久・上小・飯伊・長野・北信	小山	長野県庁 保健・疾病対策課 026-235-7141(直通電話)
諏訪・上伊那・木曽・松本・大北	嶋田	